

令和2年度 始業式 式辞

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、いつもの年よりも約1カ月余り遅れての始業式となってしまいました。たいへんもったいない感じの1カ月でしたが、皆さんの命には代えられませんので、気持ちを切り替えてやっていけるようにしましょうね。

改めましてみなさん、遅ればせながら、進級おめでとうございます。令和2年度がよいよスタートしますね。今みなさんは、どんな気持ちでいますか？一つ学年が上がり、おそらく、決意も新たに頑張りたいと思う反面、新型コロナウイルスの影響でこの先どうなるんだろうという不安もあるかと思います。まずは皆さんの生命、安全安心を優先させながら、先ほど紹介しました5名の先生方に加え15名の先生方と力を合わせ、日本一の学校を目指し、できることをやっていきましょうね！

3月の修了式で、春休みに是非やってほしいこととして、新型コロナウイルスの感染対策を含め、健康管理に十分留意しながら、新年度に向けての準備をしっかりとやってほしいというお話をしました。そのために、「心を動かすこと、体を動かすこと」を心がけてくださいと言いましたが、どうだったでしょうか？新型コロナウイルスの影響で思うようには動けなかったかも知れませんね。みなさんのことですので、早く学校が始まらないかウズウズしていたのではないかと思います。

4月のはじめに、生徒会執行部の4名、生徒会長の末吉英星さん、上田脩太さん、川満夕さん、渡辺はるかさんには、みなさんとは別にひとつ課題を与えました。これまで毎年年度はじめに生徒会執行部と「船浦中学校をよりよい学校にするためには？」ということで意見交換をする場を設けてきましたが、今年はそれができなかったため、宿題のような形で課題を与えました。

その中からここで少し紹介したいと思います。

生徒会執行部のみなさんが考える船浦中学校の「良さは」、みんな明るく仲良しで団結力がある、協力してたくさん行事など物事を成し遂げられる、そして自然が多く環境がいい、などを挙げていました。「改善すべきところ」としては、あいさつがまだ十分でないことが一番多かったです。自分から進んでできないということです。また、先輩と後輩のけじめが少し弱い、集会などの時に質問や感想を言う人が少ない、読書が課題、物事に対する後始末ができていない、などを挙げていました。

「どんな学校にしたいか」では、あいさつができる、積極的に何でも取り組める、そして地域の人たちに愛される学校にしたい、生徒会が中心になり自主的に行動ができ、一致団結できる学校、そうすることにより、みんなが楽しく学校生活が送れるようにしたいとのことでした。

「そのために何ができるか」を聞いてみると、生徒会がリードし正しいあいさつのプレゼンをする、地域に貢献できるボランティアを企画する、地域との交流会を持つ、楽しいレクを企画したりなど、みんなをまとめ、先生方ともふれ合う機会を増やししながら、一緒になってよりよい船浦中にしていきたいという提案がありました。そのために先生方にサポートをお願いしたいとの要望もありました。あと、夏休みを忙しくしないでほしいという願いもありました。

それらの言葉を聞いて、校長先生は、とてもうれしく感じました。さすが船浦中学校生徒会のリーダーだと頼もしく思いました。執行部を中心に、全校生徒ですばらしい船浦中をつくっていきましょう！学校は先生方だけで創るものではありません。勿論、先生方も船浦中を良い学校にするために頑張りますが、みなさん自身が自分たちの学校を自分たちの力で良い学校にしていくなという気持ちをもつことがとても重要です。是非、その気持ちでこの一年頑張ってください。

また、みなさんは本日午後、新たに16名の後輩を迎えることとなります。先輩として後輩たちのお手本となり、上級生として、よき兄、よき姉として、後輩たちの面倒をみるとともに、しっかりと引っ張ってほしいと思います。

さて、物事は何と言ってもスタートが肝心です。今年度は少し遅れたスタートになりましたが、3年生にとっては、高校受験に向けてのスタート、そして来年4月に西表島を離れることになる「島立ち」、いわゆる「15の春」に向けてのスタートになります。2年生は、中堅学年として、自分を磨き充実させる時です。3年生を補佐するとともに、1年生の力にもなってあげてほしいと思います。

本校には「自主」「親愛」「努力」という校訓と、「自ら学び、考え、実践する生徒」、「心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生徒」、「健康で、根気強く、たくましい生徒」の知徳体に関する3つの教育目標があります。

その教育目標達成に向け、先生方も全力でみなさんの指導支援にあたります。みなさんも「主体的に学ぶ」、「思いやり、感謝の心をもつ」、「体を鍛える」、「地域に誇りを持つ」といった「目指す生徒像」を意識しながら、学校教育目標に近づけるよう努力してほしいと思います。みなさんにとって、令和2年度が実り多い年となることを願って、始業式のあいさつといたします。ともに頑張りましょう！

令和2年5月11日

竹富町立船浦中学校

校長 仲田欣五

